



2024



第3戦/決勝
鈴鹿サーキット
2024.06.02 Sun

これまで苦手意識のあった長距離レース 上位陣と同等の好ペースで9位入賞!

得意なはずの鈴鹿サーキットで予選11位に終わったK-tunes Racing。その明確な原因が判然としないまま、決勝レースに臨むことになりました。

前日まで日中はほぼ雨を示していた天気予報は、午前中は曇り、午後は雨という形に変わり、レースへの影響も推測が難しくなっていました。ただ曇り空ゆえに路面温度が前日より低いことは間違いなく、タイヤの耐久性に対しては楽になりますが、これは全車事情は同じ。

正午からプログラムされていた決勝を前にしたウォームアップで、ついに雨が降り出しました。本来なら決勝に向けての最終的なタイヤのチェックをしたいところですが、レインタイヤを履くことに。後半は雨も弱まりスリックタイヤを使いましたが路面は完全なドライではなく、レースを占うチェックにはなりません。

そして決勝レースのスタート直前、雲の合間から日差しが出て、路面はドライに。まさに天気に遊ばれたかのようなレーススタートでした。

スタートドライバーは高木真一選手でしたが、予選で酷使されたタイヤで11位からの追いあげを見せます。25周目のドライバー交代時には7位にまでポジションを上げました。交代した新田守男選手は、周回数が多くなることを想定して、タイヤのマネージメントを重視。その効果もあり、57周目に再度交代するまでラップタイムが落ちない快走でした。

最後のパートも担当した高木真一選手は、手を緩めることなく攻め続け、9位でフィニッシュ。開幕戦に続き、今シーズン2度目の入賞となりました。最終的に84周、500km弱という長距離になりましたが、ラップタイムを大きく落としてしまうこともなく、しっかりとペースを維持して走りきったことが入賞につながったのでしょう。

次戦は2ヶ月のブランクの後、8月3日(土)～4日(日)富士スピードウェイでの350kmレースとなります。



Team Director

©GTA



影山正彦
チーム監督

「決勝レースのペースでいえば、以前よりも良くなっているし、タイムが大きく落ち込むようなことは今回のレースでは起きませんでした。気温が想定していたほど上がらなかったことも、その一因だとは思いますが。ただピット作業でミスも出てしまいましたし、給油時間が長くなってしまったということもあり、今日のところは9位が精一杯だったのかなと思います」

Driver

©GTA



新田守男
選手

「目標としていた入賞を果たすことは、まあ、良かったとは思いますが。ただ今回はエンジンの調子が良くなって、高い速度での伸びがあれば、もっといいパフォーマンスが出せたのかなと、思います。そういう意味ではちょっと残念ですね。あまり良い記憶がなかった長いレースですけど、今回はしっかりとポイントも取れたので、次回に活かしたいですね」

©GTA



高木真一
選手

「今日のわれわれのポテンシャルは、8位から10位くらいだったと思います。そういう意味では、9位という結果は、自分たちの力を出せたということですね。GT3マシンでは難しい、タイヤ無交換作戦が可能なマシンには太刀打ちできませんでした。ただ2種類のタイヤをしっかりと走らせることができ、そのデータが今後のレースにつながると思います」

Chief mechanic

©GTA



下江浩晃
チーフメカニック

「決勝レースのラップタイムは、上位のマシンと変わらないレベルで走っていたので、良かったと思います。メカニック側でピットストップの作業でミスが出てしまい、申し訳なかったです。そういうミスが出ないように、しっかりと準備します。次のレースまで2ヶ月ありますから、シーズン後半はもっと戦えるような状況を作りたいと思います」

2024 AUTOBACS SUPER GT Rd.3 SUZUKA GT 3Hours

6/2 決勝レース 鈴鹿サーキット 天候:曇り 路面:ドライ

Pos.	No.	Machine	Driver	Laps	Time / Gap	Best Lap	Tire	SW
1	777	D'station Vantage GT3	藤井誠暢	85	3:00'58.681	2'00.290	DL	0
		Aston Martin Vantage GT3 EVO	C.ファグ					
2	2	muta Racing GR86 GT	堤 優成	85	38.030	2'01.318	BS	54
		TOYOTA GR86	平良 響					
3	6	UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI	片山義章	85	45.886	2'00.835	YH	2
		FERRARI 296 GT3	R.メリ・ムンタン					
4	31	apr LC500h GT	小高一斗	85	55.462	2'01.913	BS	24
		LEXUS LC500h	中村 仁					
			根本 悠生					
5	52	Green Brave GR Supra GT	吉田広樹	85	1'03.815	2'01.971	BS	38
		TOYOTA GR Supra	野中誠太					
9	96	K-tunes RC F GT3	新田守男	84	1 Lap	2'01.645	DL	10
		LEXUS RC F GT3	高木真一					

ファステストラップ 2'00.290 #777 C.ファグ
※タイヤ BS=ブリヂストン DL=ダンロップ MI=ミシュラン YH=ヨコハマ

次は予選上位で決めたい!

レースペースは良好な今シーズン、あとは予選一発の速さが欲しい

K-tunes Racing についてのお問い合わせは、 k-tunes@okayama-toyopet.jp